2021 JCI TAJIMI
Break Through
創始の精神を胸に刻み、自ら律し行動せよ!
我々の挑戦がまちの未来を切り拓く!!

JCNEWS

Dec. 2021 JCI TAJIMI

卒業する私からメンバーの皆様にお伝えしたいこと。それは感謝の気持ちです。一年間という短い期間しか所属できない私を受け入れてくださったこと。新入会員でありながら最年長という立場の私にも優しく、時に厳しく接してくださったこと。短い期間でたくさんの経験を与えてくださったこと。この場では言い尽くせないほどの、感謝の気持ちでいっぱいです。正直なことを申しますと、私は父が他界していなかったらＪＣに入会していませんでした。しかしＪＣに入会したことで皆様と出会い、同じ時間を過ごすことができました。この一年間、『人生って不思議だなぁ』と思うことが幾度となくありました。ＪＣで皆様と出会い同じ時間を共に過ごすという日々は、父から私へのギフトだったと感じます。すべてのご縁に感謝しております。

社業とＪＣ活動の両立は、時には大変だと感じるかもしれません。しかしこのＪＣでの経験は必ず良い想い出となり、一緒に過ごした仲間と笑って話せるときが来ます。皆様にとってこのＪＣ生活が実りあるものとなりますように。陰ながら応援しております。皆様と出会えて本当によかったです。ありがとうございました。

伊藤　珠永

「生死事大光陰惜しむべし　無常迅速時人を待たず」入会からあっという間に１０年という月日が経ちました。その間、緩やかな上り坂、急な上り坂、時にはマサカ、道に迷いながらも一歩一歩ＪＣという登山を終え、清々しい気持ちでいま卒業を迎えようとしています。
人は終わりがあるから頑張れる。思い返せば入会当初、若気の至りで生意気なことも言いました。数々の失態もございます。そんな私を時に厳しく、時に慰め最後まであたたかく見守って下さいました諸先輩方。苦しい時は支え、楽しい時を共に過ごしてくれた仲間たち。委員長の時におこなった事業はどれも自分一人では成し得なかったことばかり。青年会議所は私に多くの「ご縁」「経験」「学び」を与えてくれました。自分の住む「まち」に対する想いも大きく変わり、変わらなかったのは髪型だけかもしれません。ＪＣＩという無限の可能性を秘めた団体に所属していられるのも卒業まで。現役メンバーのみなさんにはまだ残された時間があります。高い志と使命感を持って社会貢献と自らの成長を目指し、悔いの無いよう存分に活動してください。
最後に今日までお世話になった全ての皆様に心より感謝申し上げます。本当に有難うございました。合掌

小澤　全和

私は２０１８年に多治見青年会議所に入会をさせていただき、４年間のＪＣ活動でしたが本当にあっという間でした。そして卒業年であります４年目には理事長の大役をお預かりさせていただきました。まずは本年度コロナ禍という状況においてここまで活動できたのは皆様のお力添えがあってのことです。感謝しかありません。本当にありがとうございました。

活動期間が短い私にとっても、青年会議所という組織は本当に素晴らしい組織であると実感しました。また、ここまで自分自身の一人だけの力がいかに無力であるかを改めて実感しました。青年会議所に入会する前の私は、何とかそれまでは自分自身だけでこなしてきました。しかし、青年会議所に入会して２年目に委員長に拝命いただき、自分一人で何とかなるだろう、何とかしようと最初は思っていましたが、すぐに挫折をしました。そんな私を支えてくれたのは青年会議所のメンバー、特に同期には支えられました。それから私自身考え方を１８０度変え、いかに人に動いてもらうかということばかりを考えやってきました。そして皆様のお力を借り、何とか事業を成功させてきました。これは社業にも大いにフィードバックされています。また、多治見青年会議所メンバーのみならず、岐阜ブロック協議会、東海地区協議会で得た仲間は私にとってかけがえのない宝物となっています。

最後に来年以降も残るメンバーの皆様へ一言お伝えさせていただきます。役をたくさん受け、ＪＣを死ぬ気でやっていただきたいと思います。個々人にとって状況は様々だと思いますが、まずはやってみてください。全力でやった後の世界は明るい未来が必ず待っています。それでは皆様の更なるご活躍をご祈念いたします。４年間本当にお世話になりました。Break Through～創始の精神を胸に刻み、自ら律し行動せよ！我々の挑戦がまちの未来を切り拓く！！～ありがとうございました。

加藤　大輔

もともとイベント会社という立場から、多治見夏まつり等で多くのメンバーやＯＢの方々と携わってきました。その中で私が最初もっていた青年会議所のイメージは、時間もお金も余裕のある後継者の集まり。それが、お金ももらわず地域のために働く奇特な人達だなと思うようになり、そして実際にメンバーとして活動した今思うのは、責任感と熱意の溢れる人たちの集団だということです。

私が入会した理由は社業のため、というものでしたが、それは建前で、多治見のまちを自分の子供たちが好きになれるまちにしたい、８年前初めて自分の息子をこの手に抱いたときに感じたその気持ちが本音だったように思います。そして一人では出来ないことでも仲間がいれば出来るかもしれない。お誘いいただいた時にふと思ったその考えは間違いで無かったと強く感じています。この２年間はコロナの影響で本業のイベント業が立ち行かなくなり、新規事業の立ち上げ対応などで思うように活動できなかったことは、今でも悔しい気持ちです。

最後に現役メンバーへ、社会において、これほど失敗が許される環境はそうありません。ＪＣ活動での失敗は、その経験をそれぞれの社業に必ず活かせると思います、大いに失敗し、それを糧に社業を成功させてください。失われた３０年間と世間では言われますが、過去の栄光にすがりそしてそれを軸に物事を考え、失敗することを恐れ、衰退に身を順応させてきたのが原因だと思います。私も挑戦していきますので、皆さまも失敗を恐れずに挑戦していきましょう。その連続が、子供たちが幸せに暮らせる多治見につながるのだと信じています。

2年間お世話になった皆さま本当にありがとうございました。そしてこれからもご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

加藤　久明

２０１２年にＪＣに入会をさせていただき、改めて振り返ってみても本当に長いようで長かったＪＣ生活でした。卒業を迎え、今は安堵の気持ちで一杯です。入会当初はいつ辞めようかばかり考えていた私が、何故か年齢に比例するがごとく役職と経験を重ね、いつしかこの組織の中でも古株と呼ばれる立場となりました。特にここ数年はこの組織に居づらいと思うことも多々ありましたが、こうして何とか本気でＪＣを最後までやりきれたことは少しばかり自分を褒めてもいいのかなと思っています。
現役メンバーの皆様に対しては、色々と思うことがありすぎるのでとてもここでは書ききれませんが、ひとつだけ言えることは、ルールやマニュアルを重視しすぎているような気がしています。それは必要な部分はありますけれども、あくまで何のために行うのかということを深く考え、議論していくことをもっと大切にしてほしいと思います。その根本さえ間違えなければ、この組織はいくらでも変えることができます。是非とも自分本位の考え方やこれまでの慣習に固執するのではなく、広い視野を持ち、このまちのために運動をしていって欲しいと切に願っています。
最後に、この１０年間という長いＪＣ生活の中でかかわっていただいたすべての皆様に感謝申し上げます。そしてこれからは現役メンバーの皆様の活躍をＯＢとして応援するとともに、現役メンバーが行う運動に対して余計な口出しを一切せず草葉の陰から見守らせていただきたいと思います。

小境　邦裕

本年度多治見青年会議所を卒業させていただきます。古田明宏です。
私が青年会議所に入会させて頂いたきっかけは、新型コロナウィルス感染症の蔓延により、今まで行ってきた活動がほとんど止まってしまったからです。自分自身今まで行ってきた活動が止まる中で、社会との関わりが減っていき不安に思っていました。そんな中、青年会議所の活動は感染対策を徹底した上で出来る活動を行っていると聞き凄い団体だと思いました。
私は入会したからには短い期間ですが、全力でＪＣ活動に取り組もうと言う思いで１年間活動しました。配属された防災意識醸成委員会では素晴らしいメンバーに恵まれ、今年度の事業内容が、私が十数年活動を続けている消防団活動の経験･知識を生かすことも出来、何よりも楽しいと思える活動をさせて頂きました。
今年度、出来るだけ沢山の方々と交流させて頂こうと例会は１００％出席させて頂き色々な意見を伺うことが出来ました。短い期間ではありましたが、やりがいがある活動をさせていただいたメンバーの皆さんには改めて感謝申し上げます。
卒業後も私で出来ることがありましたら協力させて頂きたいと思いますし、事業に顔を出すこともあると思います。これからもよろしくお願い致します。

古田　明宏

卒業を迎えるにあたり、改めてメンバーの皆様に心から感謝申し上げます。私がＪＣに入ろうと思ったきっかけは、地域社会に貢献する団体であると会員さんから伺ったことです。

地域社会に貢献するとはどのようなことが出来るのか、これまで自分一人では動き出せなかったことでも、この団体に所属することで地域貢献が出来ると思い出来る限り出席しようと思いました。防災意識醸成委員会に所属させて頂き、折角参加するなら発言して帰ろうと決めて参加したことで役に立てたかは別として、委員会メンバーのお陰で楽しく委員会活動ができました。

事業では、小学生を対象にした事業で何度か華の司会進行役として関われ加入理由を達成できました。一生懸命やっている大人の姿勢が、カッコいいと子供たちに伝わってくれていたら嬉しいです。同期には、物事大人になってから置きにいくことが多くなっていた中、谷口君の無謀とも思われた目標を皆で切磋琢磨しながらやり遂げた達成感を味わわせてもらいました。

良いことだけではなく、悪いことや失敗したと思うこともありましたが、滝委員長の教えの通り学びや教訓と思うことで前向きに明るい未来を作っていこうと思います。

皆様にとっても、実り多きＪＣ時代で有ることを陰ながら応援しております。

堀尾　大志朗

編集後記　～２０２１年度を通じて～

２０２０年から引続き新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が思い描いていた計画通り進められない、急遽の日程変更を余儀なくされるなど、ギリギリの対応もあるなか、ＪＣＮＥＷＳの原稿をお願いします、締め切りは３日後です、など無茶なお願いをさせていただいたにも関わらず、原稿執筆にご協力いただいたメンバーの皆さまにこの場をお借りし厚く御礼申し上げます。

また、入会年次の浅いメンバーも増えているため、新入会員に加えて理事会メンバーの紹介もＪＣＮＥＷＳで行いたいという委員長の勝手な想いに、嫌な顔をすることなくプロフィール・写真をご提供いただいた皆さまにも重ねて厚く御礼申し上げます。このＪＣＮＥＷＳ、そして私がどうしてもやりたかった「委員長インタビュー記事」が毎月の例会前、皆さまにお目通しいただけていたら幸いです。

最後に、年間を通じ委員長の右腕左腕として動いていただいた藤田・若尾両副委員長、そして総務・渉外委員会メンバーの皆さま、１年間お付き合い本当にありがとうございました。

２０２１年度 総務・渉外委員会 委員長 加藤 賀裕

ＪＣＩ Ｃｒｅｅｄ

The Creed of Junior Chamber International
We Believe;
That faith in God gives meaning and purpose to human life;
That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;
That economic justice can best be won by free men through free enterprise;
That government should be of laws rather than of men;
That earth's great treasure lies in human personality;
And That service to humanity is the best work of life

ＪＣＩ Ｍｉｓｓｉｏｎ

To provide development opportunities that empower young people to create positive change.

ＪＣＩ Ｖｉｓｉｏｎ

To be the leading global network of young active citizens

ＪＣ宣言文

日本の青年会議所は
希望をもたらす変革の起点として
輝く個性が調和する未来を描き
社会の課題を解決することで
持続可能な地域を創ることを誓う

綱領

われわれ JAYCEE は
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者、相集い、力を合わせ
青年としての英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

一般社団法人多治見青年会議所
［事務局］〒507-0831 岐阜県多治見市新町 1-23 多治見市産業文化センター 4F
TEL:0572-23-5229 FAX:0572-24-0227 E-mail:info@tajimijc.com